

国際ロータリー第2580地区
東京東江戸川ロータリークラブ

WEEKLY REPORT VOL. 52

No.13 第2423回 2020.11.17

ロータリーは
 機会の扉を開く



ロータリーは機会の扉を開く

RI会長
 ホルガー・クナーク

～原点回帰
 今こそ力をひとつに～

クラブ会長

鹿倉 勇



虹のかかる皇居

- ◆例会日◆ 火曜日 12:30～13:30
- ◆例会場◆ タワーホール船堀 〒134-0091 江戸川区船堀4-1-1 TEL 03(5676)5511
- ◆創立◆ 1969年9月18日(日本で951番目)

本日の卓話 令和2年11月17日

次回の卓話 令和2年12月1日

「第3回クラブフォーラム(国際奉仕)」

「クラブ年次総会」

《 11月10日例会報告 》

点 鐘

国家斉唱「君が代」

ロータリーソング「奉仕の理想」

「BIRTH - DAY - SONG」

来賓紹介

◎ゲスト 4名

河野智樹氏(ゲストスピーカー)

鎌田侑真氏(ゲストスピーカー付)

後関和之氏(東京江戸川RC 会長)

森田友行氏(東京江戸川RCパスト会長)

◎ビジター 1名

荒井知久氏

(次年度東分区分ガバナー補佐・東京江戸川RC)

以上5名

出席報告

会員数	出席	出席率	前々回訂正率
27名	19名	86.36%	100%



会員誕生日祝 唐澤君

会 長 ◆ 鹿倉 勇
 副会長 ◆ 小内 賢一
 幹 事 ◆ 永井 正己

会報・雑誌委員会 ◆ 永井 正己・阿部 昇・寺田 弘晃・菅原 隆之
 事 務 局 ◆ 〒133-0057 江戸川区西小岩1-27-24 ドミシール小岩102号室
 TEL 03(5612)1767 FAX 03(5612)1774
 e-mail: e-edogawa@msc.biglobe.ne.jp http://e-edogawa-rc.com



結婚記念日祝 永井君 森本君 橋本君 寺田君

会長報告

- 東京江戸川RC会長・後関和之氏、パスト会長・森田友行氏より、東分区IMのご案内。



- 当地区ガバナー指名委員会は、国際ロータリー細則第12条に従って、東京北RC会員・栃木一夫君を2023-24年度当地区ガバナーノミネーデジグネートの候補者に指名いたしました。なお、11月12日までに対抗候補者の提出がない限り、指名委員会の指名通りに確定することになります。

幹事報告

- 本日例会終了後PM1:45～タワーホール船堀2階「蓬莱の間」にて、ロータリー情報研修委員会開催。
- 11月12日(木)PM3:00～web会議システム(ZOOM)にて、地区青少年奉仕委員会とクラブ青少年奉仕委員会合同会議開催。瀬下青少年奉仕委員長、小内地区インターアクト委員長出席。
- 11月12日(木)PM4:00～Web会議システム(ZOOM)にて、第1回全体クラブ管理運営(クラブ奉仕)委員長会議開催。小内クラブ奉仕委員長出席。
- 11月13日(金)AM9:30～東武ホテルレバント東京にて、第2回ガバナー補佐エレクトセミナー

- RLIパートI開催。嶋村会員、茂手木会員出席。
- 11月14日(土)PM6:30～シャングリ・ラホテル東京にて、東京江戸川中央RC創立27周年記念家族会開催。鹿倉会長、小内副会長、永井幹事出席。

- 11月15日(日)AM10:30～オンラインミーティングにて、東京米山友愛RC創立10周年オンライン記念例会開催。嶋村ガバナーノミネー出席。

- 11月16日(月)PM3:00～学士会館307号室にて、第3回地区青少年交換委員会開催。岩倉地区青少年交換委員出席。

- 今年度の地区大会について、ホストクラブ・東京浅草中央RCからご連絡が参りました。

今年度の地区大会は万全の感染症対策の下、参加者全員の安全性を優先し、プログラムを簡素化されます。1日目(4/7):RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会、2日目(4/8):本会議のみの開催です。登録も全体で700名とし各クラブの登録人数の限定をすることです。登録関係書類は12月初旬に届きます。

————— 例会臨時変更のお知らせ —————

11月12日(火)

- ・東京ベイRC → 11/10(火)夜間移動例会
(東京江東RCとの合同例会)

11月14日(土)

- ・東京江戸川中央RC → 夜間移動例会
(創立27周年記念例会)

11月17日(火)

- ・東京足立RC → 創立44周年記念例会

11月19日(木)

- ・東京江北RC → 夜間例会

11月20日(金)

- ・東京東京東RC → 休会

11月24日(火)

- ・東京足立RC → 休会
- ・東京葛飾中央RC
→ 11/21(土)第23回ゆめコンサートに変更

委員会報告

<国際奉仕委員会>

- ・来週のフォーラムの議題について。

《卓話》

11月10日の卓話は、NPO法人アクセプト・インターナショナル 広報・ファンドレイジング局長 河野智樹氏の「新しい紛争解決～テロと紛争の解決に抜け

て～」でした。



ニコニコBOX

本日入金…¥ 47,000
今期累計…¥ 265,500
基金合計…¥ 2,711,279

後関氏・森田氏（東京江戸川）

…インターシティミーティングのご案内にまいりました。よろしくお願ひ致します。

荒井氏（東京江戸川・次年度東分区ガバナー補佐）

…本日はお世話になります。

ニコニコ情報

①本日の卓話

NPO 法人アクセプト・インターナショナル
広報・ファンドレイジング局長 河野智樹氏の
「新しい紛争解決～テロと紛争の解決に抜けて～」
に期待いたします。

鹿野君、村山君、塚田君、鈴木君、阿部君、森本君、
平田君、岡村君、田中君、城戸君、鹿倉君、唐澤君、
永井君、橋本君、菅原君 …①

瀬下君…河野さん、鎌田さん 本日はようこそロータリークラブにお越しいただきました。卓話の内容しっかり聞かせていただきます。楽しみにしております。

計 19 名

第2回ロータリー情報委員会報告

日 時：令和2年11月10日(火) PM1:40～2:30

場 所：タワーホール船堀2階「蓬莱の間」

参加者：岡村、唐澤、小内、鹿倉、菅原、瀬下、
永井、橋本（敬称略・50音順）8名

【世界ポリオデー 大きな達成に焦点】

ロータリーによる2020年世界ポリオデー（10月24日）の特別オンラインプログラムは、アフリカ地域における野生型ポリオ根絶の認定という歴史的達成事項にスポットライトを当てます。

パラリンピック選手で、今年のプログラムの共同ホストとなるアデ・アデピタン氏にとって、この快挙は特別な意味をもちます。幼少期にポリオにかかったアデピタン氏は、「私はナイジェリア生まれなので、この達成を心から嬉しく思う」と述べ、小さいときからこの日を待ち望んでいたと述べました。

10年前、全世界における野生型ポリオウイルスによる発症のうち、4分の3はアフリカで起きていました。現在、10億人以上が暮らすアフリカはポリオフリーとなっています。しかしアデピタン氏は、「根絶活動はまだ終わっていない」と警鐘を發し、全世界でのポリオ根絶という大きな目標の達成に精力的に取り組むことを訴えています。

同じく共同ホストを担うギータ・マネク氏（ロータリー財団管理委員）は、世界ポリオデーがロータリアンの意欲を高める特別な機会だと述べ、ポリオに終止符を打つために、ひたむきに根絶活動に取り組むロータリアンが世界中にいることを指摘しました。

・共同の取り組み

ナイジェリアのポリオプラス委員長であるロータリアン、ツンジ・フンショ氏（Lekki Phase 1ロータリークラブ会員）は、この快挙がアフリカの会員とリーダー、そして世界中の支援者によって成されたものであることを述べました。

先日、『TIME』誌の2020年「世界で最も影響力がある100人」に選ばれたフンショ氏は、認識向上と資金調達のために無数のロータリアンがイベントを催し、政府への働きかけを行っていることを指摘

します。「ポリオ根絶はまさに共同の取り組みです。この達成は私たち全員のものです」

ロータリーとその会員は、アフリカ地域でのポリオ根絶活動におよそ8億9000万ドルの寄付を行ってきました。これらの資金はポリオプラス補助金となり、サーベイランス、輸送、認識向上キャンペーン、NID（全国予防接種活動）に活用されます。

今年の世界ポリオデーの特別オンラインプログラムは、フェイスブックにて複数言語で配信され、日本では10月24日午前8時から配信となる予定です。ビル&メリンダ・ゲイツ財団がスポンサーとなるこのプログラムでは、『TIME』誌の編集者であるジェフリー・クルーガー氏、TVニュースのホスト役でロータリアンのマーク・ライト氏（米国、Seattleロータリークラブ会員）、グラミー賞受賞歌手のアンジェリーク・キジョー氏が出演します。

・2020年の課題

2020年は、100万人以上の命を奪い、世界経済を震撼させている新型コロナウイルスへの言及なしに語ることはできません。

グローバルアップデートでは、世界保健の専門家が、ロータリーと世界ポリオ根絶推進計画（GPEI）の主要パートナーが今日までに築いてきたポリオ根絶活動のインフラが、新型コロナウイルスの世界的流行に対する対応においてどのように役立てられているかについて話します。

WHO事務局長付シニアアドバイザーであるブルース・アイルワード氏は、次のように述べます。「ポリオ根絶活動を通じて構築したインフラは、地域社会の関与と連携の方法、地域社会が実際に保健介入を行うための指導方法、疾病サーベイランスの方法など、ほかの多くの疾病に取り組む上で非常に重要な役割を果たしてきました」

グローバルアップデートのパネリストには、クリストファー・エリアス氏（ビル&メリンダ・ゲイツ財団グローバル開発部門長）、ヘンリエッタ H. フォア氏（UNICEF事務局長）、レベッカ・マーティン氏（米国疾病対策センター、グローバルヘルスセンターディレクター）も含まれます。

エリアス氏は、世界にはほかにも伝染性の疾病が緊急的に流行しているものの、ロータリアンが常に支援してくれると話します。「ロータリアンは、ポリオキャンペーンで村の子どもたちに行った支援から学んだことを生かして、黄熱病やはしかのワクチンを子どもたちに届けています」

グローバルアップデートでは、ポリオ根絶のインフラに基づくパンデミックへの対応戦略についても

紹介しています。エチオピアのポリオサーベイランスチームが新型コロナウイルスの症例を報告しているほか、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンでは、通常ポリオ対策に使用されている緊急活動センターが新型コロナウイルス対応に活用されています。

また、ナイジェリア・ボルノ州での予防接種活動で奮闘しているボランティアの保健ワーカーや、子どもたちをポリオから守るためにアフガニスタンで地域動員に尽力する人たちの様子を紹介するビデオも配信されます。

クルーガー氏は、ロータリー会員3名を含む「ポリオのパイオニア」たちと幼少期の経験について話します。これらのパイオニアは、1950年代にジョナス・ソーク博士が開発したポリオワクチンの大規模試験に参加した、100万人以上の子どもたちの中に含まれます。

・今後のポリオとの闘い

ロータリーにおける目下の課題は、現在もポリオの発症が続いている2カ国（アフガニスタンとパキスタン）で、野生型ポリオウイルスを根絶することです。また、アフリカでは、ウイルスの再感染を防ぐために、定期予防接種を強化する必要があります。

ポリオを根絶するには、ポリオの常在国やハイリスク国で、毎年複数回の質の高い予防接種キャンペーンを実施しなければなりません。新型コロナウイルスの世界的流行の間は、医療従事者を新型コロナウイルスから守りつつ、ポリオに対する人びとの免疫力維持と、ポリオ感染の予防に努める必要があります。

ロータリーは、1985年にポリオプラス・プログラムを開始して以来、21億ドル以上をポリオ根絶活動に投じてきました。現在、ビル&メリンダ・ゲイツ財団とのパートナーシップ（ロータリーからの寄付に対し、ゲイツ財団が2倍額を上乗せ）により、毎年1億5000万ドルが、ポリオ根絶という子どもたちとの約束を果たすために活用されます。

（R I ホームページより抜粋）

ご注意ください!!

次週1月24日（火）は祝日週のため
休会です。

次回タワーホール船堀での例会は
12月1日（火）です。

お間違えの無い様お気を付け下さい。